

For Sustainable Tomorrows



GREEN PROP

GREEN PROP SUSTAINABLE REPORT 2016

株式会社 Green prop

福岡県筑紫野市大字永岡 1272-14

TEL : 092-922-1716

FAX : 092-922-1961

<http://greenprop.jp>



<http://greenprop.jp>

目次

- P01 目次/沿革
- P02 トップメッセージ
- P03 お詫びとご報告:中間処理施設火災事故について
- P05 Green propのビジョン～目指す社会の姿～
- P07 CSR基本方針
- P09 Key1:安全・安心
- P10 Key2:コミュニケーション
- P11 Key3:『循環型』実現
- P12 Key4:環境配慮調達
- P13 Key5:ダイバーシティ
- P14 Key6:ESD(持続可能な開発のための教育)
- P15 マテリアルバランス
- P16 KPI
- P17 Green propグループ概要

[報告対象組織]

株式会社 Green prop

[報告対象期間]

2015年7月～2016年6月(※一部対象期間外を含む)

[発行時期]

2017年3月

[参考ガイドライン]

環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)

[お問合せ先]

株式会社Green prop 担当:丸山

〒818-0066

福岡県筑紫野市大字永岡1272-14

フリーダイヤル:0120-52-0589

TEL:092-922-1716

FAX:092-922-1961

E-Mail:info@greenprop.jp

沿革

1985年 7月	○ 株式会社 筑紫環境保全センター 資本金1,000万円にて設立
1986年 9月	○ 福岡県知事より障がい者雇用に対する功績により表彰状を授与
1990年 12月	○ 小郡養護学校より職場実習の尽力に対し感謝状を受領
1991年 9月	○ 永年の障がい者雇用を評価され労働大臣賞を受賞
1996年 10月	○ 稲築町より廃棄物再生処理への尽力し、貢献した功績により感謝状を受領
2000年 12月	○ 筑紫野市永岡に産業廃棄物処分業許可取得 (溶解・破碎・許可番号04020008045号)
2002年 6月	○ 産業廃棄物処理施設増設(圧縮機導入)、 産業廃棄物処分業追加許可取得(破碎・圧縮)
2003年 3月	○ ISO14001(本社工場・収集運搬業)認証取得
2006年 10月	○ 優良性評価制度基準適合第1号(福岡県中間処理)
2008年 7月	○ エコスタッフ・ジャパン加盟
2009年 1月	○ 貨物自動車運送事業 安全性評価事業 Gマーク取得
2010年 8月	○ グループ会社 株式会社ATGREEN 設立
10月	○ CROSS FM グリーンキャスティングサプライヤーに(2013年6月まで)
2011年 11月	○ 「福岡県男女共同参画計画“女性の先駆的活動部門”」表彰受賞
2012年 1月	○ JALスカイワード「つながるエコ 持続型社会の構築に向けて」掲載開始
2012年 2月	○ 福岡県よりゼロミッション推進事業者として表彰
2012年 10月	○ 3R推進全国大会において「環境大臣表彰」を受賞
2013年 3月	○ グループ会社 Sustaina green株式会社 設立
7月	○ 株式会社Green propに社名変更、代表者変更、福岡支店開設
11月	○ 東京営業所開設、太陽光発電事業開始
2014年 2月	○ ホームページ全面リニューアル
2015年 2月	○ 新CSR検定公式セミナー開催
6月	○ Green prop コーポレートムービー公開
2016年 4月	○ 中国支店開設

Green prop TOP MESSAGE

着実な一歩を積み重ね、未来のために新たなスタートを。

2016年は私たちにとって「反省と変革」の一年でした。そのきっかけとなった出来事は7月8日に弊社中間処理施設で発生した火災事故です。まずは皆様方に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。事故の詳細についてはこのあとのページでご報告させていただきます。

今回の事故では、自社の管理体制の甘さと不備、危機管理意識の低さが露呈いたしました。たくさんのパートナー企業のコンサルティングを担当する立場としてはあり得ない現状に直面することとなりました。

こうしたなかでひとつ光があるとすれば、あらゆるステークホルダーの皆様が私たちをゆるし、温かく応援してくださいましたことです。取引中止を申請されるパートナー様が一社もいらっしゃらなかつたばかりか「あなたたちなら大丈夫」と元気付けてくださいり、近隣に住む皆様方からも励ましの声を多数いただきました。私たちがいかにすばらしい方々に支えられてこの仕事をしてきたのかを強く再認識する機会となり、あらためて感謝の思いを強くしている次第です。

これを単なる事故で終わらせないために、全社員にアンケートを取り、リスクマネジメントをはじめとする管理体制を抜本的に見直すことを決めました。集まった改善案は膨大な量にのぼります。これまで看過してきた事實を目の当たりにし、経営者としての未熟さを痛感しました。しかし、立ち止まってはいられません。「今こそ変わることだ」と覚悟して、これらの問題を一つずつ解決していくことにしたのです。

いつもはスピードを優先する弊社ですが、ステークホ

ルダーの皆様からは「思ったより立ち直りが遅いね」というご心配のお言葉をいただくこともしばしばです。過去にない大改革に取り掛かっているからだと、ご理解をいただければ幸いです。道半ばではありますが、進むべきゴールは見えてきました。少しずつ、しかし確実に前進できているのはひとえに私たちを見守り、叱咤激励してくださる皆様方のおかげです。

二度と同じことが起こらないよう、今後も社員一丸となって課題解決に取り組んで参りますので、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



株式会社Green prop 代表取締役

丸山 久子

[お詫びとご報告]

中間処理施設火災事故について

2016年7月8日午後9時頃、当社中間処理施設において火災事故が発生いたしました。

近隣の皆様、関係当局の皆様、お取引先様をはじめとするステークホルダーの皆様に

多大なご迷惑とご心配をお掛けしたことを、深くお詫び申し上げます。

この事故の重大性を真摯に受け止め、再発防止に向けた施策を実施し、安全管理体制の再構築に努めてまいります。

火災事故の概要

[発生場所]

株式会社Green prop 中間処理施設
福岡県筑紫野市大字永岡1315番2

[発生日時]

2016年7月8日20時50頃に発生
同日23時40分頃に鎮火

[被害の状況]

- ①人的被害…なし
- ②物的被害…建屋の壁面、屋根の一部焼失
　　フォークリフト1台全焼、破碎設備の一部焼失



発生の原因

①関係当局の見解:原因不明

②当社独自で依頼した専門家による調査で挙げられた考えうる原因

- [1]電気設備からの漏電
- [2]落雷
- [3]放火
- [4]廃棄物からの自然発火

設備

中間処理施設の仕様変更

火災が起った中間処理施設と事務所は別建屋でしたが、破碎・圧縮設備を同建屋に移設し、処分業許可を変更しました。作業環境を調査して、騒音対策設備や照明器具を更新しました。



敷地内防犯カメラの設置

工場、車両基地、事務所入口等敷地内8か所に防犯カメラを設置しました。事務所およびポータブル機器で現場の状況が24時間確認可能となりました。



組織・体制

「労働安全衛生再構プロジェクト」を発足し、ゼロから労働安全衛生を見直し

各部署より現状の課題を抽出して、考えうる原因と現状の課題解決に向けた労働安全衛生計画を策定しました。策定後は全社員を対象に計画発表および安全教育を実施しました。

「労働安全衛生推進室」を発足

労働安全衛生計画を進行するための組織を再構しました。安全パトロールなどの維持管理と改善を毎月定期的に検討しています。



運用管理

作業手順書

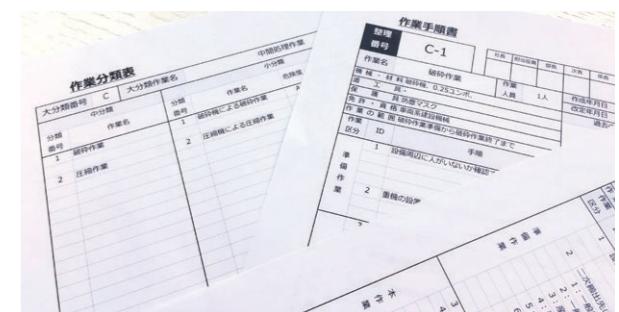
新業務フローに基づいた作業手順書を全面的に見直し、制定しました。

各種管理規程

破碎・圧縮設備、フォークリフト、重機、車両等の各種管理規程を全面的に見直し、制定しました。

教育体制

改定した作業手順書や管理規程を基に社員教育の内容を見直して改善しました。



原因に対する状況

- ①電気設備からの漏電 / 旧事務所と隣接した建屋に破碎設備等を設置しており、不要な電気配線撤去はしていなかった
- ②落雷 / 避雷針等の設置はなし
- ③放火 / 入口にはゲートの設置あり
- ④廃棄物からの自然発火 / 廃棄物搬入時には混入物の確認を必ず行っていた
- ⑤その他 / 工場が事務所とは別建屋のため監視・監督が行き届いていなかった

第三者意見

株式会社Green prop様とは3年の付き合いです。これまで現場を拝見し安全衛生の中のKYTやリスクアセスメント等個別の内容・手法について研修をさせて頂いていました。

今回、7月の火災を契機に安全衛生全般を見直されることになり、管理体制の構築、安全衛生管理計画の立て方等について川添社長以下労働安全衛生再構プロジェクトの方達と一緒に考えて参りました。

同時に、作業手順書の見直し等の具体的な課題も多く取り上げ、3年計画で取り組まれることになりました。

川添社長は会議に毎回出席され、熱心にみんなの意見を聴かれています。また、メンバーの人達も自由に発言し明るい風通しの良い職場風土だと感じました。トップダウンとボトムアップがうまく噛み合った結果、計画が出来ると信じています。

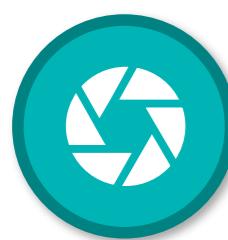


中央労働災害防止協会
九州安全衛生サービスセンター
八木 功治 様

● VISION TO Green prop

Green propのビジョン ~目指す社会の姿~

Green propグループは、地域システムのリデザイン・イノベーション・コラボレーションのプロデュースを通じた新たな価値と持続可能なコミュニティの創出により、サステイナブルな社会の実現を目指します。



地域サービスの再設計

Redesign

地域の抱える課題に広い視野を持って向き合い、地域サービスを再設計することで新たな価値を見出す。



技術の革新

Innovation

地域密着型の体制で本質的な課題解決につなげ、地域資源の有効活用や需要に合わせた効率の良い運用、地域内経済循環を実現する。



分野を越えた共同・連携

Collaboration

地域に属する行政・企業・NPOなど多くの方々と連携・共同し、農業・IT・観光・福祉など分野を越えたコラボレーションにより可能性を広げる。

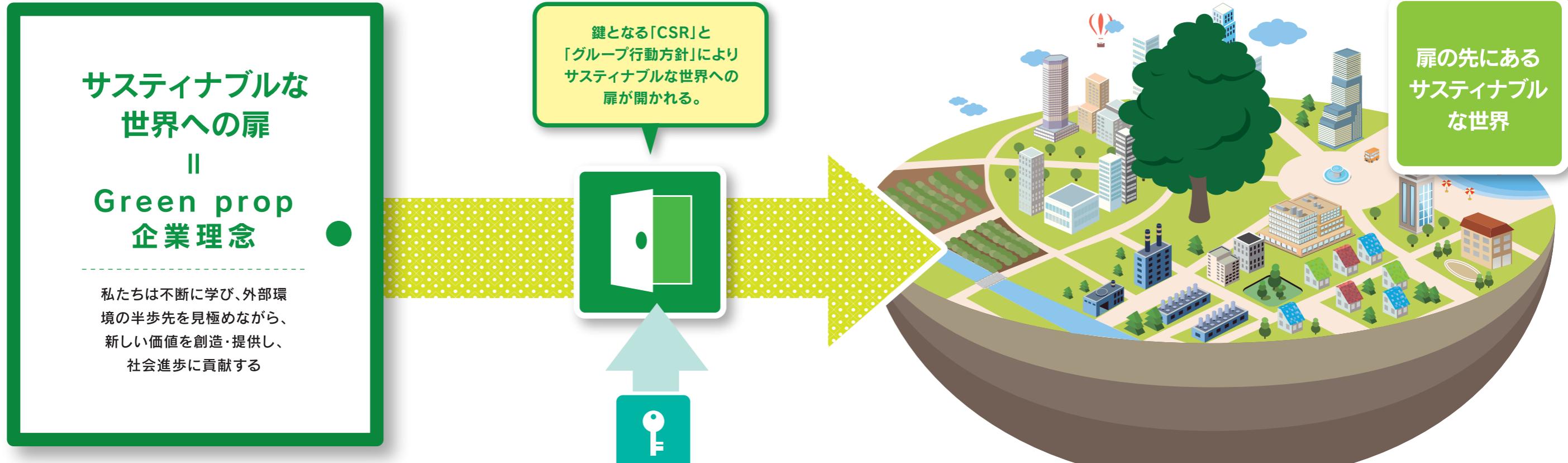


GREEN PROP グループ

[Green propとは]
「緑の支柱」を意味します。持続可能な未来環境を支える柱になりたい、そんな想いを込めた社名です。

CSR基本方針

Green propではCSRを「企業の持続的な発展への重要な戦略」の一つと位置づけ、企業理念の実現に必要不可欠な鍵であると捉えています。この企業理念の扉を開けるために、「グループ行動方針」というもう一つの鍵を携え、企業理念の扉の先に広がるサステナブルな社会に向けて邁進していきます。



サステナブルな世界の扉を開けるための鍵

[GP・CSR6つの重点項目] KPIやISO14001でマネジメント実施

安全・安心	安全第一の業務を行うことでお客様に安心を提供していくために	P09
コミュニケーション	皆様とコミュニケーションを図ることで新たな価値を創造し提供するために	P10
『循環型』実現	あらゆる側面から限りある資源のより効率的な運用を行い、地球環境を守るために	P11
環境配慮型調達	日常的に私たちを支えてくれるモノから環境を考え行動するために	P12
ダイバーシティ	お互いを認め合い、多様性を活かせる社会を創造するために	P13
ESD(持続可能な発展のための教育)	皆様と共に持続可能な未来環境を創造するために	P14

[GPグループの行動指針] 全ての行動の軸となる指針

+

- 1 未来から今を見つめる。
- 2 お客様を徹底的に知る。
- 3 走りながら考える。
- 4 今日も笑顔の花を咲かせる。
- 5 人の役に立つことを喜びとする。
- 6 相手のそのままを受け入れる。
- 7 「儲かりそだから」では動かない。
- 8 会話の終わりに「ありがとう」。
- 9 常に地球環境を意識する。
- 10 「愛」を育み続ける。



FOR SUSTAINABLE
KEY.01



安全・安心

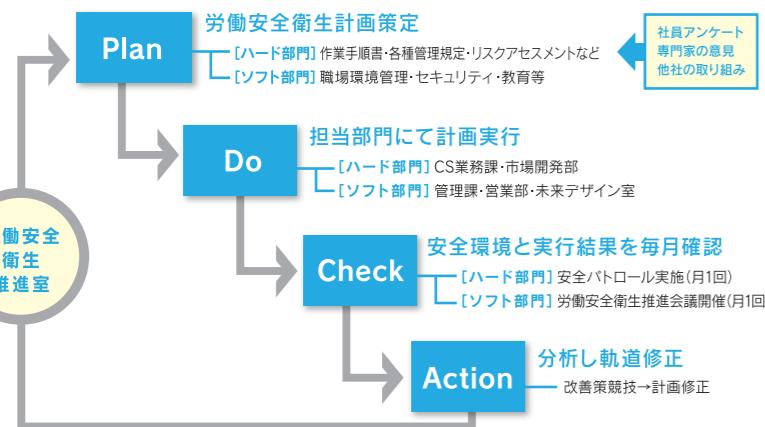
安全第一の業務を行うことでお客様に 安心を提供していくために

安心いただけるのは、安全な状態を維持・継続していくことであると考えます。より安全な業務環境を整えるために、特に予防段階の活動とスピードのある改善活動に力を入れております。

01 労働安全衛生システムの 抜本的改善

2016年7月8日に起きた火災事故を受けて、労働安全衛生システムをゼロから見直しを行いました。特に中間処理作業に関しては、処分フローの変更に伴うリスクアセスメントの実施や作業手順書の再整備を行いました。収集運搬に関しては、車両ごとならびに現場ごとに管理できる体制を整備しました。また、ハード面だけでなく事務作業等のソフト部門にも着手し、職場環境の整備や教育体制の見直しを図っています。

このようなPlanの策定は完了し、今からは運用していく段階です。労働安全衛生推進室がPDCAサイクルの起点となり、全社員一丸となってシステムの定着化をまず行い、安全環境の維持に努めています。



02 ドライブレコーダーを 全車両に導入



収集運搬車両や営業車両等全車両にドライブレコーダーを設置し、安全運行管理を行っています。運転内容が点数化されることから、各人の運転状況管理にも活用しております。また、危険運転(ヒヤリ・ハット)はその都度社内共有し、日常的な安全運転教育を行っています。

FOR SUSTAINABLE
KEY.02



コミュニケーション

皆様とコミュニケーションを図ることで 新たな価値を創造し提供するために

あらゆるステークホルダーの皆様と様々な形でコミュニケーションを図り、よりよい企業体への成長と新たな価値の創造を目指していきます。

01 平成28年度熊本地震被災地支援



2016年4月14日より、熊本地方を中心に発生した「平成28年度熊本地震」において、救援物資を当社にて集め、4月20日および4月25日の2回に分けて被災地に届けました。

社員やお取引先様はじめとしたたくさんのステークホルダーの皆様からも物資とお気持ちも合わせて熊本に届けました。元気な熊本に戻るように、これからも私たちにできることを行っていきます。

救援物資量

飲料水 1745.6ℓ

カップ麺 640個

紙おむつ 2,228枚

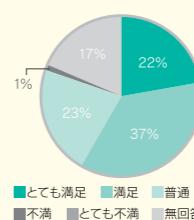
生理用品 1,596枚

02 CS(お客様満足度) アンケート

アンケート概要

当社および当社グループ会社とお取引頂いている要因や決め手についての満足度

[実施期間] 2016年6月 [対象者] お客様及び協力会社様 [有効回答票] 233件 [有効回答率] 30%



満足度 ベスト3	項目	割合
① 提案力	83.4%
② 担当社員の知識や専門性	65.1%
③ 優良産廃処理業者認定企業	64.7%

満足度 ワースト3	項目	割合
① 価格	37.3%
② トラブル対応	28.6%
③ スピード・納期	28.2%

長年経験してきた
ノウハウを
価値として提供維持し、
人材対応力向上にむけた
アクションを行う



『循環型』実現

あらゆる側面から限りある資源のより効率的な運用を行い、地球環境を守るために

事業活動を行う上で使用する様々なエネルギー。事業活動を行うことで発生するあらゆる廃棄物。これらもすべて資源と捉え、社会全体の視野を持って効率的な運用を実施・提案していきます。

01 中国支店の開設

2016年4月1日に広島県大竹市に中国支店を開設しました。中国支店では、焼却灰のリサイクルに向けた収集運搬を中心に行っており、計8名の運行および管理体制を整えております。これから、中国エリアの皆様と共によりよい地球環境を創造できるよう精進してまいります。



02 エネルギーの削減

本社事務所の電気使用量は、空調設備を省エネ型に更新したことで大幅な削減となりました。その空調効率を保つために設備のメンテナンスやエコネット(空調省エネ商品)のチェックを定期的に行っております。

一方、収集運搬部門のEMS(デジタコ)平均点については目標未達でした。エコドライブの推進は安全の確保にもつながるため、日々の点数チェックと運転指導を重点的に取り組んで行きます。



電気使用量削減率

9.6%
(30期比)



EMS(デジタコ)平均点

68.7点
(前年: 73.6点)

FOR SUSTAINABLE

KEY.04



環境配慮型調達

日常的に私たちを支えてくれるモノから環境を考え行動するために

私たちの暮らしはあらゆるモノによって支えられております。そのひとつひとつから持続可能な未来環境を考えしていくために、ライフサイクルの起点である調達から環境を考えていきます。

01 環境配慮型調達のセミナー開催



『環境配慮型調達の新たな提案
～容器包装のトータルコスト削減と機能性向上～』
と題してセミナーを開催しました。

今回はグループ会社のSustainagreenと連携し、容器包装の環境配慮型調達として「竹パルプモールド容器包装」をご紹介し、環境・CSRという新たな付加価値を加えた上で容器包装のトータルコスト削減を目指す提案をさせていただきました。

容器ベンダー、卸売業、自社での使用を検討されている方などがご来場され、セミナー後の相談会でも活発な意見交換が行われました。

02 グリーン購入の推進

社内備品等のグリーン購入は、対象範囲を広げて目標再設定を行った初年度でしたが、無事目標達成することができました。文房具・日用品などの事務所備品に関しては使用頻度が高いものからグリーン商品への移行を進めています。一つ一つは少量ですが、継続することで結果が少しづつ表れてきております。

また、新しく対象とした運搬・リサイクル部門で使用する備品や作業着については、安全性や機能性・価格など、様々な角度から検討した結果、適切なグリーン商品に出会えておらず、計画通りの移行とはなりませんでした。

32期では運搬・リサイクル部門におけるグリーン商品への移行に力を入れることと、在庫・発注管理の徹底により、経費削減にも取り組んでいきます。



グリーン購入法適合製品比率

30.6%



FOR SUSTAINABLE
KEY.05



ダイバーシティ

お互いを認め合い、 多様性を活かせる社会を創造するために

多種多様な人財が環境・CSR分野でも活躍できる、ダイバーシティな社会を目指して、社内人財育成を基軸にした活動を推進していきます。

01 女性の活躍推進

女性が活躍できる職場を目指して、適材適所による女性人材の配置、評価制度により公平な評価の実施を継続してきました。

30期は18%だった女性社員比率が、31期は目標の20%を越える結果となりました。積極的に女性を採用するだけでなく、お子様がいる方への配慮や、各種制度を活用して、入社後にも働きやすい環境を作っています。また、「お客様へのお役立ち、おもてなし」という部分でも、女性社員の意見が多く反映され、各プロジェクトにも必ず女性社員が入るなど、活躍の場も非常に多い職場です。

女性社員
比率
24%

02 人財育成研修の参加・開催

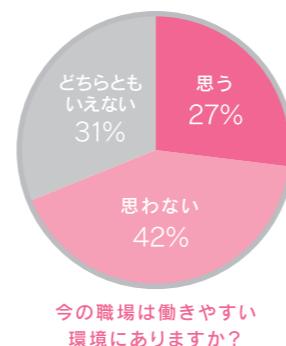
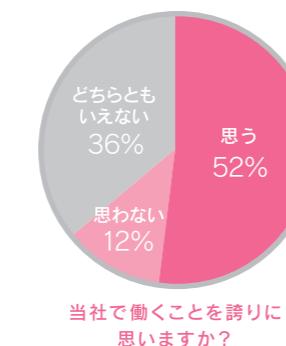
社内研修では、約30年の歴史を振り返り当社の大切にしていきたいコンセプトをまとめたクレドの勉強会を定期的に開催しました。特に行動指針についての理解を深めることに重点を置き、今までのエピソードを役員や先輩社員が話しディスカッションを行いました。



03 ES(社員満足度)アンケート

企業と社員との距離を縮め、社員がいきいきと働くことができる環境を整えることを目的に、ES(社員満足度)アンケートを実施しました。その結果、当社で働くことに誇りを持っている社員が半数を超えた一方、業務量の多様さやボリュームによる繁忙感を感じ、働きやすい環境に関しては低い数値となりました。

32期は今回のアンケートで見えてきた課題を整理し、特に各業務の棚卸・整備に関して重点的に取り組んでいきます。



FOR SUSTAINABLE
KEY.06



ESD
持続可能な発展のための教育



皆様と共に持続可能な未来環境を 創造するために

私たちが目指す持続可能な未来環境は、様々な分野のみなさまと共に笑顔で過ごせる空間であり、共に創造していくことが重要です。そのため積極的な情報発信・共有を行っていきます。

01 各種講演・セミナー実施

31期も多くの機会を頂き、当社事業や環境・CSR分野の最新動向などをお話しさせていただきました。

- 2015年7月 ○ 九経調イブニングセミナー [九州経済調査協会]
- 2015年8月 ○ 平成27年度第1回九州PPPセミナー [九州PPPセンター(株式会社産業連携機構九州)]
- 2015年9月 ○ 第2回新CSR検定公式勉強会 [株式会社Green prop]
産業廃棄物処理業 経営塾 [公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団]
- 2015年10月 ○ 東洋大学 省インフラ研究会セミナー [東洋大学 省インフラ研究会]
- 2015年11月 ○ 企業視察研修 [株式会社タナベ経営]
えひめ産業廃棄物協会研修会 [一般社団法人えひめ産業廃棄物協会]
- 2016年2月 ○ 第3回新CSR検定公式勉強会 [株式会社Green prop]
女性社員の活躍について [福岡県新社会推進部男女共同参画推進課]
- 2016年3月 ○ 株式会社セールスアカデミー 熱・考・動クラブ 特別講座 [株式会社セールスアカデミー]



分散型エネルギーインフラプロジェクトと地方創生と題し、エネルギー地産地消と地域インフラ運用の公民連携モデル事例を有識者や事例を有する自治体関係者様に発表いただきました。



当社の環境・CSR分野における『ワンストップソリューションサービス』について、サービス誕生に至った経緯や事例を中心に紹介いたしました。

マテリアルバランス

MATERIAL BALANCE

INPUT	
⚡ エネルギー	
電気	76,230kWh
ガソリン	17,071ℓ
軽油	408,534ℓ
水	226m ³
主な自社受入廃棄物※1	
廃プラスチック類	1,963t
ガラス・陶磁器くず	100t
木くず	124t
金属くず	144t
布団	98t
紙くず	4.3t
繊維くず	0.01t
混合廃棄物	315t



OUTPUT	
●CO ₂ 排出量	1103.04t-CO ₂
※水とエネルギー起源のCO ₂ 排出量を対象として算定しています。	
●主な自社排出廃棄物※2	
廃プラスチック類	1,677t
ガラス・陶磁器くず	61t
木くず	171t
金属くず	98t
混合廃棄物	378t
リサイクル率※3	92.7%



※1: 廃棄物のデータはマニフェスト数値と自治体から業務委託を受けた廃棄物の数値を合算したものです。(t以下は四捨五入しています)

※2: 有価売却物のデータは除きます

温室効果ガス排出係数は原則として「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」にて掲載されている情報にて算定しています。

環境方針 ～ISO14001～	基本理念	行動方針
持続可能な未来環境を創発する企業として、事業活動そのものを「環境調和」「環境創造」と結び、社会進歩に貢献するための環境推進を図る。		
①環境に関する法令、その他要求事項を遵守する		
②事業活動そのものを「環境調和」「環境創造」と結び、PDCAの指針となるKPI指標及び環境目的・目標・実施計画を定め、日々の活動で持続可能な社会環境の創造に努める		
③社会の動向・ステークホルダーの皆様の声を基に、社内外コミュニケーション及び啓発活動の促進として、環境教育活動・CSR活動・ボランティア活動などにより有用な情報を提供し、未来の環境創発活動に積極的に貢献する。		
平成25年7月1日 株式会社Green prop 代表取締役 / 川添 克子		

KPI

KEY PERFORMANCE INDICATOR

重点項目	分類	KPI	取り組み内容	【評価指標】○:目標達成 △:取組実施・目標未達 ×:取組未実施						
				第31期目標	第31期結果	評価	第32期目標	第33期目標	第34期目標	
安全・安心	予防措置	安全パトロール実施回数	①月に1回SSパトロールと共に安全パトロールの実施 ②パトロール後は定例会議で共有し改善実施	12回	12回	○	12回	12回	12回	
		ヒヤリハット件数	①収集運搬部門:ドライブレコーダーを活用し、ヒヤリハット作成 ②リサイクル部門:ヒヤリハット報告書にてヒヤリハット作成 ③定例会議にて共有実施	平均月5件	月10.9件	○	月10件	月10件	月10件	
		防災訓練の実施回数	①関係各所における防災訓練の実施 ②社内防災計画の見直し ③安全パトロールにて遵守状況定期確認・指導	-	-	-	1回	1回	1回	
	安全意識の向上	安全講習会開催数	①外部講師による安全講習会の開催	2回	4回	○	2回	2回	2回	
		労働安全衛生	①労働安全衛生管理規程の再整備 ②作業手順書の再整備 ③安全パトロールにて遵守状況定期確認・指導 ④リスクアセスメント研修の開催 ⑤中間処理工場内のリスクアセスメント実施 ⑥リスク低減対策の立案・検討 ⑦リスク低減措置の実施	-	-	-	0件	0件	0件	
	コミュニケーション	労働災害発生件数	情報発信媒体におけるアンケート回収率	①ニュースレター発行においてアンケート実施 ②サステナブルレポート発行においてアンケート実施	1%	1%未満	△	1%	2%	3%
		ステークホルダーとのコミュニケーション	①改善提案を随時募集実施 ②月次の会議にて改善計画立案 ③改善実行	3件	3件	○	5件	6件	7件	
		ステークホルダーとの協働活動実施件数	①地域活動へのボランティア参加 ②CSRネットワーク企業との情報交換や協働CSR活動の実施 ③NPO・NGOとの協働活動検討	-	-	-	3件	4件	5件	
		CSアンケートの満足度	①CSアンケート結果を分析 ②各部にて改善実行 ③毎年6月にCSアンケートを行い、回答結果にて改善状況把握	-	-	-	65%	68%	70%	
『循環型』実現	年間CO ₂ 排出量	エネルギー起源CO ₂ 排出量 売上高単位削減率	①照明を中心に省エネ設備へ更新 ②施設内の省エネ活動強化 ③エネルギー効率の向上	第29期比1%削減	0.9%増加	△	第29期比2%削減	第29期比3%削減	第29期比4%削減	
	エネルギー効率の向上	ドライブレコーダー エコドライブ平均点数	①エコドライブ講習への参加 ②エコドライブ10のすすめの推進 ③月間成績の社内共有	80点以上	68.7点	△	70点以上	75点以上	80点以上	
	使用エネルギーの削減	本社における電気使用量	①SS活動を活用した小まめな節電の実施 ②空調設備の更新と空調省エネ商品「エコネット」の設置(メンテナンス) ③事務所照明のLED化 ④クールビズ・ウォームビズの推進	第30期比売上高単位削減率1%削減	9.6%削減	○	第31期比売上高単位削減率2%削減	第32期比売上高単位削減率2%削減	第33期比売上高単位削減率2%削減	
	CO ₂ 削減貢献活動	CFP製品、カーボン・オフセット付製品等の購入	①文具類の備品選定で優先的にCFP製品、オフセット付製品を購入 ②オフセット付ノベルティの製作 ③会議室案内、サステナブルレポートなど印刷段階で発生するCO ₂ をオフセット	継続実施	なし	×	-	-	-	
	エネルギー効率の向上	営業車両低燃費車導入率	①車両更新時に随時導入	35%	30%	△	35%	40%	45%	
		収集運搬車両低燃費車導入率 (平成27年度燃費基準達成車)	①車両更新時に随時導入	48%	46%	△	48%	50%	52%	
	有害物質の排出量抑制	収集運搬車両低排ガス車導入率 (平成17年基準低排ガス重量車以降の規制車両)	①車両更新時に随時導入	68%	62%	△	65%	68%	70%	
	リサイクル推進	廃棄物リサイクル率	①廃棄物中間処理機能の強化 ②新になりリサイクル方法の開発 ③中間処理マニュアルの更新と教育実施	90%	92.7%	○	95%以上維持	95%以上維持	95%以上維持	
		第26期比備品購入金額削減率	①SS活動による備品使用ルールを維持・更新 ②必要在庫数の把握と発注管理徹底	35%	31.2%	△	-	-	-	
	一人当たり備品購入金額削減率	①各機器の備品使用ルールを維持・更新 ②在庫・発注管理の徹底	-	-	-	-	第31期比1%削減	第32期比1%削減	第33期比1%削減	
環境配慮型 調達	グリーン購入法適合製品調達	グリーン購入法適合製品比率※2	①文具類のグリーン購入推進 ②作業服・制服にゴムマーク製品を導入	30%	30.6%	○	35%	40%	45%	
	エシカル製品調達	エシカル製品購入数	①作業物や贈答物においてエシカルな商品選択を実施	-	-	-	1点	2点	3点	
	ダイバーシティ	女性の活躍	①適材適所による女性人財の配置 ②評価制度により公正な評価を実施	20%	24%	○	25%	27%	30%	
		キャリアアップの推進	①外部研修参加へのプログラム構築 ②研修内容の活用方法提案および社内共有を定期的に実施	25回	18回	△	20回	23回	25回	
ESD	地域社会の発展	環境教育等実施回数	①環境教育・見学会・セミナー等への対応	10回	10回	○	12回	15回	18回	
	持続可能な未来に向けて	持続可能な地域システムの構築	①新規事業の企画・F/S調査実施 ②新規事業に必要なパートナーシップ構築 ③多様な人財(障がい者、高齢者、グローバル人財、女性、地域人財など)との連携により社会価値創造のためのプロジェクト検討	1名	1名	○	1名	1名	1名	

※1 太陽光発電を通じたCO₂排出削減量は加味しておりません。 ※2 グリーン購入法適合製品比率=グリーン購入法適合製品購入数/備品購入数

Green propグループ概要



私たちGreen propグループは
持続可能な未来環境を共創するアライアンスパートナーです。

自然と社会の美しい連鎖と循環を生み出すために
企業はもちろん、自治体、NPO法人、福祉法人などあらゆる分野の組織体と提携し
人と人、人と社会、人と自然がもっと豊かに通じ合う未来を
パートナーと共に創りあげていきます。

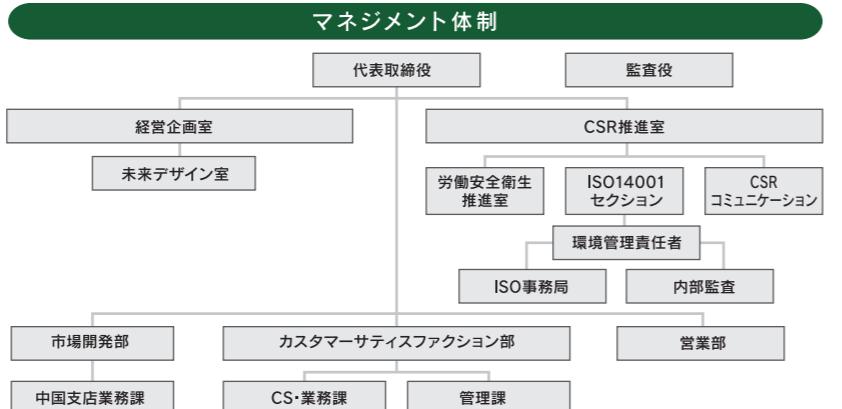
For Sustainable Tomorrows — 持続可能な未来のために。
私たちが展開する事業は、すべてこの一点に帰着します。
その実現を自らのミッションと定め、胸に刻み
前進し続けることを、私たちはここに誓います。

[商品・サービスラインアップ]

サービス対象	商品・サービス内容
マネジメントサポート	CSR推進体制構築支援/研修・トレーニング
	CSR戦略・KPI策定支援
	コミュニケーションツール作成サポート
現場サポート	廃棄物管理ワンストップサービス
	廃棄物再資源化サービス
ソフトソリューション	5S活動支援
	環境ラベリング
ハードソリューション	カーボンマネジメント
	新エネルギー導入
調査・プランニング	LED
	エコネット
	環境配慮製品導入

■商号] 株式会社 Green prop
[代表者] 川添 克子
[設立] 1985年
[資本金] 2,000万円
[従業員数] 35名

■所在地
[本社] 福岡県筑紫野市大字永岡1272-14
[福岡支店] 福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-16 3F
[中国支店] 広島県大竹市北榮4-12
[東京営業所] 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル5F
[大牟田出張所] 福岡県大牟田市健老町472番地 大牟田エコタウン内



■商号] 株式会社 ATGREEN
[代表者] 川添 克子
[所在地] 福岡県北九州市小倉北区魚町2-1-7
ACTマツナガビル5F MIKAGE1881
[電話番号] 093-967-1117
[FAX番号] 093-967-1118
[WEB] <http://www.atgreen.jp>
[E-Mail] info@atgreen.jp



■商号] Sustaina green株式会社
[代表者] 川添 克子
[所在地] 福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-16 3F
[電話番号] 092-292-0101
[FAX番号] 092-292-0032
[WEB] <http://sustaina-green.com/>
[E-Mail] info@sustaina-green.com

情報提供サービスをご登録・ご利用ください！

Green prop Facebook



CSR活動に共に取り組みませんか？

Facebookをご利用の方は、グリーンプロップのFacebookにご参加ください。私たちの事業活動や地域活動への参加、セミナーやイベントのご案内やお申し込みを受け付けております。

グリーンプロップのFacebookページへは、弊社ウェブサイトのトップページからアクセスできます。



Green prop press



約1,000名の方に
お届けしています！

年3回程度発行しているグリーンプロップの社外報です。ご希望の方には、無料でお送りしています。私たちの事業活動内容や年間行事、イベントの募集や実施報告などのご報告と新サービスのリリースのお知らせなどグリーンプロップの今をお届けしています。

Green prop pressのお申し込みは、右ページのご登録用紙でお申し込みいただくか、担当営業までご連絡ください。